

「第1章 看護師として求められる基本的な資質・能力」「第2章 資質・能力、学修目標、到達度、教育内容、ブループリント」に関する修正意見があれば記載してください。修正に関する理由や根拠（文献、報告書等）も併せて示してください。

<第一章について>

○看護師の役割に関する視点を限定しているところの修正を希望する。第1章の基本的な資質・能力の冒頭で「看護師は医療チームの一員として」という医療に限定しているが、医療・保健・福祉・介護チームの一員とするべきである。医療チームの一員としているため、求められる能力も、高度専門看護師育成に限局しているように見える。また、今回の改訂内容は看護基礎教育と急性期医療で要求される看護実践能力に焦点化したものという印象を生じ、看護師の活動の場を限定する印象を与えかねない。

○QSの卒業時点に Does が全くないことは再検討が必要である。

○IPの階層によっては卒業時点の Does について再検討が必要である。

○GE や PR には一部「倫理」に関係する表現はあるが、倫理的に対応する能力（態度、知識）についても、一つの独立した能力として示すべきである。

○PR については、説明責任、利他性も含む必要があると考えますがいかがでしょうか（Arnold L., Stern D.S: What Is Medical Professionalism? , <https://doi.org/10.1093/oso/9780195172263.003.0002> 等）。

○RE にはエビデンスもしくは根拠に基づいたという言葉が必要である。

<第二章について>

○第2章の考え方は理解できるが、新人看護師の到達度をふまえたシームレスといているが、内容的に10年以上のキャリアをもつ特定医行為の看護師の能力に限定しているように見える。地域ケアを支えている訪問看護師には必ずしも必要がない能力であり、むしろ、管理、経営、創造に関わる能力の育成を追記したほうが良い。

○2章23ページのEPAの考え方について、①は学生は～学ぶ、②学生は～学ぶ、となっているので、それに合わせると③は実習指導者は～誰に？任せると修正したほうが良い。

○看護師として求められる基本的な資質・能力が多層に構造化されており、ブループリントで全体を1000とする比率が示されているものの、その妥当性が明確に理解できず、各大学の教育目標や方針などがある中で、（参考の例示から）数値化されたものを各科目にどの程度反映させる必要があるのかが不明確である。